

2024 年度夏期

ワイカト大学語学研修 報告書 (4 名分)

3 週間コース：2024 年 8 月 24 日～2024 年 9 月 15 日

5 週間コース：2024 年 8 月 24 日～2024 年 9 月 29 日

ワイカト大学夏期語学研修 2024 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2024年8月24日～2024年8月14日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

[応募動機]英語を主に使用する国に行き、自分の英語力がどれくらい通じるのかを知りたかったため、この研修に参加をしました。

[申し込み手続き]今回初めての海外だったため、研修への参加が確定したらすぐにパスポートを取りました。国際交流チームの方のサポートに従って手続きを進めました。

[語学対策]日常会話で使えるフレーズの書いてある本を買って、渡航前によみました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

渡航前にある、英語のテストを元に、現地はクラスが分けられます。自分のレベルに合ったクラスで学ぶことができたので、満足できました。学生同士でスピーキングをする授業が多かったため、自分の語彙力を伸ばす事ができたと思います。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私のホストファミリーは、お母さん、お父さん、小学生の息子と娘、6か月の赤ちゃん の5人家族でした。朝ごはんは、全員自分のごはんは自分で用意をしました。学校のある日は自分でお昼ごはんを用意して、休日はホストマザーが用意してくれました。晩御飯もホストマザーが作ってくれました。ホストファミリー同士の会話のスピードはとても速くて、初日はすごく驚きましたが、徐々に慣れて、帰国する時には、だいたい意味が分かるようになりました！私と話をするときは皆ゆっくりと話してくれたので、問題なくコミュニケーションをとることができました。休日になると、観光地や牧場、公園など、いろんなところに一緒に出掛けて、楽しい時間を過ごす事ができました。
食事、健康管理	現地での食事はどれも美味しかったです！風邪をひかないように、体を冷やさないよう気を付けました。
持参してよかったもの（理由）	有線イヤホン ↳耳の穴にぴったりくっつくタイプのイヤホンを持って行ったので、機内で映画を見る時に、役立ちました。
	毎日、帰るために利用するバスが決まったら、ホストマザーに連絡

危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	をするようにしました。放課後急に予定が入った時も、ホストマザーに連絡をして、帰りが遅くなることを伝えるようにしました。また、夜の遅い時間には、家から出ないようにしました。
--	---

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	139170 円	
海外旅行保険	8020 円	
研修費用	★4636 円 388,620 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。 ★電子と公認証と観光税
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	2200 円	二回昼食を自分でお金で食べた。
交通費	5759 円	Bee カードに入金したバス代
その他（小遣い, 通信費など）	3500 円	お土産など
合計		551,905 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください \*ここに貼り付けなくても OK です）

毎日学校から帰ってきた後に、家でホストシスターとブラザーと一緒に、折り紙やあやとりをして遊びました。日本からお土産として持って行った 100 枚入りの折り紙が 1 週間でなくなってしまったので、1 \$ ショップで買い足して一緒に遊びました！3 日に一回ぐらいの頻度で犬の散歩をホストファミリーと一緒にして、その時にいろんな話ができ楽しかったです。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

現地ではサポートしてくださる、アドバイザーさんがいるので、安心してください！きっと貴重な良い体験ができると思います！

ワイカト大学夏期語学研修 2024 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2024年8月24日～2024年9月29日

1. 留学前の準備について（応募動機, 申込み手続き, 語学対策など）

英語に慣れたかったのと、NZ という自然がいっぱいの国に行ってみたいという気持ちで応募しました。手続きは自分でやりました。親には、サインだったりお金関係だけ協力してもらいました。語学対策は、Hello talk というアプリで、海外の方とチャットをしたり電話をしたりしてただけで、英語の勉強は皆無とっていいほどでした。

2. 研修内容や大学（授業内容, 形態, 学生同士の交流, アクティビティ等）

エレメンタリークラスだったので、授業内容はとても簡単でしたが、過去や未来時制に特化した授業で、とてもためになりました。先生が授業中に1人ずつ質問してくれます。間違った答え方をしていた場合、先生が都度修正してくださって、とても勉強になりました。授業中に、フルーツバスケットだったり、kahoot という参加型のゲームを使ったりして、とても楽しかったです。みんな kahoot が大スキでした。学生同士の交流もたくさんあり、ほぼほぼクラスの子と遊びに行っていました。現地の学生との交流は、自分から Friday sports や日本語授業に参加することによって、現地の子と友達になっていきました。Sports は言語の壁を乗り越えてみんなで楽しめるので、すごくいい場所だったと感じます。

3. 生活（住環境, 食生活や健康管理, 危機管理, 持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	クリスチャンだったので、毎週日曜日に教会に行ったり、毎食の前にお祈りや歌を歌いました。とても友達が多いホストファミリーだったので、友達の家遊びに行く際は連れて行ってもらいました。おうち靴を脱いでも、脱がなくてもよかったです。きれいな部屋を用意してくれました。たくさんお話してくれました。
食事, 健康管理	食事はほとんど手作りのご家庭だったので、とってもおいしかったです。アメリカ系のご家族だったので、食べれない！ってものはなかったです。絶対サラダやフルーツを出してくれるので、健康的な食事を毎食いただきました。あと常にお腹がいっぱいでした。
持参してよかったもの (理由)	龍角散：乾燥していたので、みんな喉を傷めていました。 運動できる服や靴：たくさん歩いたり、運動をするので、便利でした。あと雨によく濡れたので、替えの靴としても便利でした。 折り畳み傘：雨が急に降ってくるので常に持ち歩いていました。

<p>危機管理  (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)</p>	<p>夜 20 時くらいに 1 人で歩道を歩いていると、いきなり車にクラクションを鳴らされたり、車から罵声のとびかかってくることもありましたが、女ってことがわかった場合にされるので、夜一人で歩いているときは、フードをかぶっていました。</p>
---	---

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	150,000 円	
海外旅行保険	15,000 円	
研修費用	500,000 円 0 円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	180,000 円	ホームステイ、買い物
食費	30,000 円	
交通費	20,000 円	
その他（小遣い、通信費など）	20,000 円	
合計	915,000 円	

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください \*ここに貼り付けなくても OK です）



Hobitonのツアーに参加しました。クラスメイトのサウジアラビア人が友達を呼んでくれてすごく楽しかったです。景色が見惚れてしまうほどきれいで広大な大地が広がっていて、目に焼き付けなきゃねってみんなで話していました。同じツアー客でモンゴル人の方から声をかけていただき、友達になれました！



Hamilton gardenにホストファミリーと行きました。世界各国の庭園がそろっており、日本の庭園もあってすごく面白かったです。とってもきれいでした。まだ私が行ったときは無料で入れたのですが、有料になってしまったみたいです。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

絶対5週間がおすすめです。3週間だと、ホストファミリーや友達とすごい仲良くなってからの即帰国になってしまうと思います。留学生は日本人が多いですが、他の国の子と仲良くなるには、自分から挨拶に行った方が手っ取り早いです。現地の子にもHiと声をかけるのも良いと思います。親日の子だったら、向こうから話しかけてくれます。笑顔と愛嬌で仲良くなれます！英語が皆無だった私でもぜんぜんいけました。すごい楽しかったです。

## ワイカト大学夏期語学研修 2024 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2024年8月24日～2024年9月28日

### 1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

一度海外の文化を経験し、自分の考えを深めたいと思い留学を志望しました。語学対策は特にしておらず、強いて言えば一年前にと TOEIC を勉強していました。

### 2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

ワイカト大学の自分の学んだ教室では日本人が多く、自発的に英語を喋らないと英語を学ぶ機会が少ないと感じ、色々なアクティビティに参加しました。私はワイカト大学のジムに通い、そこで外国人と仲良くして、英語を話していました。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	とても優しいホストファミリーで、基本的ホストファミリー同士の会話は早くてついていけないですが、自分に話しかける時はわかる単語で話しかけてくれました。毎日のご飯もとても美味しく、よかったです。
食事、健康管理	食事は日本に比べて少し多いくらいでは問題はなかったです。ニュージーランドは多国籍の人がいるので、食べようと思えば日本食を食べることもできて、不自由なくすごせました。
持参してよかったもの （理由）	サッカーなどを体育館で毎日のようにしていたので、中用の運動シューズが重宝しました。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	最初の頃はカバンが盗まれるんじゃないか心配で注意してましたが、思っていた以上に平和な国で、後半では特に何も気にしていませんでした。ただ、日本に比べて夜出歩く人が少なく、夜は人気がなく少し怖かったので夜帰る時は注意して歩いてました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	145,650 円	

海外旅行保険	9140 円	
研修費用	509,690 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
	0 円	
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	20,000 円	
交通費	80,000 円	
その他 (小遣い, 通信費など)	30,000 円	
合計		794,480 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して, その様子の説明をご記入ください \*ここに貼り付けなくても OK です)

最終週の土日に南の島のクライストチャーチに一人で行ってきたのがとてもよかったです。地震後の復興が進んでおり、街並みがとても綺麗で歩き甲斐がありました。



★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

もし留学するならニュージーランドは治安が良く街並みも綺麗で、住んでる人も話しかけたら親切に話してくれるとてもいい国です！ニュージーランドの語学学校は日本人が多いので、積極的に外国人と会う機会を設けてガンガン話しかけたらいい留学になると思います！頑張れ！

## ワイカト大学夏期語学研修 2024 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2024年8月24日～2024年9月15日

### 1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

もともと海外留学に興味があり、ニュージーランドに行ってみたくてという思いがあったのでこのプログラムに応募しました。また、初めての海外だったのでまずは短期留学をしたかったという思いも大きかったです。

申し込み手続きについて、私はパスポートを持っていなかったため、まずはパスポートを申請することから始めました。それ以降は基本的に担当の先生の指示に沿って手続きをしてきました。

語学対策については、出発前に特に特別な対策はしていませんでしたが、空港での手続きや日常生活に必要な基本的な単語は、少し復習していました。

### 2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業について主に午前中は、会話の練習・今週のプレゼン発表（2人くらい）・宿題の答え合わせ・教科書の内容（単語、リスニングなど）で午後からは、教科書の続きしたり、英語を使ったゲームをしたりしてました。留学前のオリエンテーションでは、自習学習用にタブレットで十分だそうと言われていましたが、私のクラスは、毎週テーマが与えられたプレゼンの課題があったのでその資料作成の際にパソコンが必須でした。また、課題の量も他のクラスはそこまでないクラスもあったようですが、私のクラスは毎日何かしら課題が出されました。先生にもよると思います。

クラスは、ほとんどが日本人+少数の中国人という構成でした。クラスには私と同じ大学の人がいなかったため最初は緊張しましたが、少人数だったのですぐに仲良くなりました。

放課後は、バスの乗り換えがショッピングセンターだったので、そこで買い物したり、毎週木曜日にある English クラブに参加したり、大学内の店を回ったり自分なりに楽しんでました。ただ、課題があったのと、バスの乗り換えで通学時間が長かったのであまり長くは遊べませんでした。

大学は広くて大きくてきれいでした。また、マオリ文化を象徴した建物や植物があり、マオリの文化についても学ぶことが出来てとても面白かったです。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

	ホストファミリーは私をとてとても温かく迎えてくれて過ごしやすかつ
--	----------------------------------

<p>ホストファミリーについて</p>	<p>たです。あまり英語を話すことはできなかったのですが、私にも理解できるようにゆっくり話してくれたり、積極的に話しかけてくれたりしたおかげでたくさん楽しいお話ができました。言葉で表現できないときは、リアクションで会話をすることも多々ありました。また、家では笑顔でいること、挨拶をすること、感謝することを常に大切にしていました。</p> <p>ホストファミリーは、マレーシア出身の方で、父、母、高校生の娘2人、猫一匹という家族構成でした。とても賑やかな家族で、思っていたより比較的自由的な雰囲気でした。ホストファミリーのおかげで、私は3週間とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。</p>
<p>食事、健康管理</p>	<p>食事はとてもおいしかったです。</p> <p>夕食：家族に作ってもらう</p> <p>朝食：自分で好きな物を各自で食べる（主にシリアルとミルクのみ）</p> <p>昼食：夕食の残り＋フルーツ＋菓子を持っていく日が多かった</p> <p>ニュージーランドは、ランチに菓子やフルーツを持っていく習慣があるそうです。</p> <p>私の家では、夕食に野菜もたくさん用意してくれたので特に野菜不足と感ずることもあまりありませんでした。</p> <p>好き嫌いについて</p> <p>また、「これは苦手です」とはっきりと伝えていたので、家族は私の苦手な食べ物に気を遣ってくれ、特にまずいと感ずたものはありませんでした。自分のことを理解してもらうためにも苦手な食べ物ははっきりと家族に伝えることが大切だと感ずました。</p> <p>健康管理について</p> <p>基本的には夜11時には寝て朝は6時30分に起きる生活でした。特に慣れない土地での生活だったので、夜は早く寝ることを心掛けていました。また、ニュージーランドの昼は暖かくて比較的過ごしやすい気候ですが、朝・夜は冷え込み寒かったです。ヒートテックなど暖かい服を持っていき、調節していました。</p>
<p>持参してよかったもの (理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カイロ</li> </ul> <p>朝と夜が特に寒かったのでよく使っていたから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドクリームとリップクリーム</li> </ul> <p>乾燥するので私にとっては必須でした</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカード ニュージーランドはキャッシュレス化が進んでいます。たまに現金では払えない店もありました。日本で現金をいくらか両替しましたが、ほとんどクレカで決済しました。</li> <li>・パソコン 課題をする際によく使用しました。また、授業でもたまに使うこともありました。</li> <li>・折り畳み傘 冬は天気の良い日が多いです。たまにスコールのように急に雨が降り出す日もありました。</li> <li>・圧縮袋 スーツケースの中の衣類の整理の際に役立ちました。</li> </ul>
<p>危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)</p>	<p>帰りは夜遅くならないように気を付けていました。</p> <p>ショッピングセンターでバスを待っているとき、怖そうなおじさんがたまにいたので変に近づかないようにしていました。</p> <p>特に、貴重品の管理は気を付けていました。リュックの中でも簡単に取り出せそうなところには入れない、パスポートはスーツケースの中に入れてカギをかけるといった工夫していました。</p> <p>それ以外特に危険だと感じた場面はありませんでした。</p>

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	133,150 円	
海外旅行保険	1679 円	
研修費用	388,620 円 0 円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	約 3000 円	たまにお昼代、お菓子代
交通費	約 5000 円	Bee カードチャージ分
その他（小遣い、通信費など）	約 5 万円	お土産代、SIM代、観光料金
合計		約 60 万円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して、その様子の説明をご記入ください \*ここに貼り付けなくても OK です)

大学の様子



すごく広くてきれいでした。カフェもいくつかあり、施設は充実しています。寿司も売っています！特に寿司のネタは日本では見かけないものもありました。また、コンビニみたいなところでお菓子がたくさん売っていたので放課後によくお菓子を買って食べていました。

Agrodome



ハミルトンからは車で1時間半くらいかかるロトルアという地域にある観光地です。少し高いですが、ここでは羊刈りショーを見たり、ファームツアーで動物の餌やりを体験できたりします。ハミルトンは街中だったので普段はあまり動物を見かけることはできませんでしたが、ここにはたくさんの動物がいました！特に羊がたくさんいて可愛かったです。私は動物が好きだったので、ホストファミリーに紹介してもらってロトルアまで連れて行ってもらいました。すごく楽しかったです。

ハミルトンガーデン

世界的に有名な庭園です。大学からバスで約10分とアクセスしやすい場所にあったので、午後



の授業が休みの日の放課後に行きました！日本、中国、イギリス、エジプト、インドなどいろいろな国の庭園をイメージしたエリアもありとてもきれいでした。写真はインドの庭園を再現したエリアです。その現地の植物だけでなく、世界の庭園も観覧できるのでお勧めです。

アイスクリーム



ニュージーランドはアイスクリームの消費量が多いそうです。特に Duck island icecream というお店のアイスクリーム屋さんが有名です。とてもおいしかったです。また、家でもたまに食後にアイスクリームを食べていました。ニュージーランドではホーキーパーキーという味のアイスクリームが有名だそうです。家では、ホーキーパーキーばかり食べていました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

ニュージーランドは気候的に過ごしやすく、きれいなところです。3週間という短い期間でしたが、英語圏で生活する、異文化を体験するといった貴重な体験が出来たのでとても充実していました。期間が短いので、ガッツリと英語を学ぶという事は出来ませんが、異文化交流を通じて日本とは違った生活を経験できるので、私のように海外の生活に興味があるという人や、海外が初めての人にもこの研修はぜひおすすめです。